|  |  |
| --- | --- |
| **ポスター番号(こちらで記入します)** |  |
| **名前**（所属, 〇〇研究室, 学年） | |
|  | |
| **Title in English**  Authors’ name | |
|  | |
| *下の記載例を参考にしてご記入ください。*  *※図を入れて要旨を記載してください。*  *※下の記載例は、削除しないでください。*  *※11/19(金)までに実行委員会（nagoya.gakusei@gmail.com）へご提出ください。* | |

|  |  |
| --- | --- |
| **P-XXX** |  |
| **周戸 大季**（名大院理, 伊丹研究室, D1） | |
|  | |
| **Synthesis of cycloiptycenes from carbon nanobelt**  Hiroki Shudo, Motonobu Kuwayama, Yasutomo Segawa, and Kenichiro Itami | |
|  | |
| (6,6)カーボンナノベルトは我々によって初めて合成された筒状縮環芳香族炭化水素である。しかし、カーボンナノベルトを反応に用いた例はこれまでに知られておらず、これを元にした新奇ナノカーボン骨格の構築に興味がもたれる。そこで今回我々は、(6,6)カーボンナノベルトとベンザインやアルキンとの反応を試行した。その結果、(6,6)カーボンナノベルトが有する6ヶ所のアントラセン部分構造においてDiels–Alder反応が進行し、単結晶X線構造解析によって図のような六付加体が得られたことが明らかとなった。ベンザインとの反応で得られた化合物は無置換シクロイプチセンとして初の合成例であり、カーボンナノベルトが新奇ナノカーボン骨格構築におけるビルディングブロックとして有用であることが示された。 | |